



特定非営利活動法人国際連合活動支援クラシックライブ協会（以下、国連クラシックライブ協会）は、平成13年度より地球環境基金の助成を受けるとともに、公演時に観客に対して募金を呼びかけるなど、地球環境基金への募金活動に協力。7年間に渡り継続的に寄付を行い、今春、その寄付累計が100万円を上回りました。

「いまここに生きている喜び」を 客席に届けたい！

特定非営利活動法人国際連合活動支援クラシックライブ協会

芸術活動を通して国連の広報活動を

〈編集部〉こちらでは、出演者はプロだけでなく、その都度、一般公募しているそうですが、これまでの参加者数や活動実績について教えてください。

〈小池〉「赤毛のアン」、「ゼロ弾きのゴースト」、そして地球環境基金の助成を受けて制作した「環境ミュージカル・そして森は生きている」などがうちの代表作で、これまでのコンサート回数は100回以上、参加者は延べ1400人、観客数は9万人近くにおよびます。会場では、お客様に募金を呼びかけて寄付を集め、地球環境基金のほかに、世界の恵まれない子供たちの教育資金として贈ることが出来ました。

「活動を続ける大変さ」を乗り越えて

〈編集部〉では次に、出演者の皆さんにお話をうかがいたいと思います。この活動に長い間参加されている大学生に、これまでの感想などをお聞きたいのですが。

〈佐久間〉私は中学2年生の時からこの活動に参加していて、「続けていくことの大変さ」を肌で感じてきました。セリフや歌、踊りを覚えるだけでも必死なのに、その上、それらをもっと深く理解するために、物語の時代背景や地理など、調べることも山ほどあるのです。でも、学校の成績が落ちれば両親にこの活動をやめさせられてしまうかも

地球環境基金からの寄付感謝状贈呈を記念して、国連クラシックライブ協会の活動とその魅力に迫るべく、小池理事長とミュージカル出演者にお話をうかがいました。

しれないと思いき、勉強も必死で頑張りました。やっぱり、歌と踊りが大好きだから続けてこられたのだと思います。

〈編集部〉小学生のお二人も、学校の勉強との違いを感じますか？

〈藤原〉はい。小池先生からはいつも、「国語、算数、理科、社会は理性を磨き、芸術は心を磨く。だからどちらもしっかりと勉強しなさい」と言われています。それから、「舞台を通して臨機応変を学びなさい」とも言われます。ダンスを間違えそうになった時、どうやって誤魔化すか。学校では「誤魔化す方法」は教えてくれません（笑）。

〈秋田〉私は旅行が大好きなので、大きいお姉さんたちと一緒にヨーロッパ公演に参加できたことが一番嬉しかったです。その時、ドイツ、スイス、フランスなどを巡り、訪問地の文化や歴史に触れることができたのがとっても勉強になりました。

〈編集部〉小学生でヨーロッパ公演に参加するなんてすごい経験ですね！海外公演のお話をもう少しお聞かせいただけませんか？

国際人としての目を養う

〈岩崎〉私は平成13年11月にNY公演に参加しました。9月にワールドトレードセンターがテロによって爆破された直後で、現場はまだ煙が上がっているような状態でした。日本にいてテレビで見ている

お話をうかがった皆さん

小池雅代さん
(国連クラシックライブ協会 理事長)

ピアニストとして演奏活動後、1998～9年、文化庁芸術家在外研修員としてニューヨークに滞在。劇場経営、劇団運営についての研究の傍ら、ジュリアード音楽院オペラ科、N. Y. アクトゥース等にて実技研修等を行う。文化庁在外研修帰国後、Artistic Director Producerとして現在に至る。財団法人 日本青少年文化センター理事、劇団Y・P・A事務長等を兼務し、幅広く活躍。



佐久間有紀さん

大学4年生
インド哲学専攻
活動暦：9年目
(海外活動)
ニューヨーク公演
韓国公演
欧州公演



岩崎真央さん

大学1年生
建築学専攻
活動暦：10年目
(海外活動)
ニューヨーク公演
韓国公演



滝本真己さん

高校3年生
声楽専攻
活動暦：5年目
(海外活動)
ニューヨーク公演
欧州公演



藤原春輝君

小学6年生
活動暦：4年目



秋田美優さん

小学5年生
活動暦：5年目
(海外活動)
欧州公演



公演の際の 募金活動の様子



終演後、出演者がステージ衣装のまま募金を呼びかけてくれました。



た光景が、突然に目の前に広がり、すごくショックでした。

〈佐久間〉私はこの活動を通じて参加したフィリピンの国際会議が強く印象に残っています。当時、フィリピンでは経済発展や開発が優先で、環境対策まで手が回らないという話でした。私たちの団体では環境ミュージカルも上演していますが、現実を知れば知るほど、途上国の人たちにメッセージを発信していくことの難しさを痛感しました。

小さな積み重ねでコツコツとエコ募金

〈編集部〉こちらでは、普段の練習中も環境問題を意識されているそうですね。どんなことを実践しているのですか？

〈滝本〉練習の時には、お茶を沸かした水筒を、おにぎりや自分で握って持ってきたきなさい、と小池先生から言われて実行しています。ゴミの削減にもつながるし、自分で作れば食べ残しも減るからです。それから、ユニークなところでは「トイレ貯金」の実践！トイレのタンクにレンガを1つ入れると溜める水が少なくて済むので、節約した水を使ったと思ってみなで募金をしています。

〈編集部〉家庭でも何か心がけていますか？

〈藤原〉要らない電気を消すようにしています。

〈秋田〉牛乳パックをリサイクルしています。「リデュース、リユース、リサイクル」の「3R」のことを教えてもらったので。

〈岩崎〉私はテレビや新聞で見聞きするエコや環境という言葉が自分の中を素通りしなくなりました。将来は、建築の仕事を通じて、環境問題に貢献できればいいと思っています。

「自分色」を持って世界に羽ばたいてほしい！

〈編集部〉では最後に、小池理事長、この活動を通じて、子どもたちに伝えたいことを教えてください。
〈小池〉うちの卒業生には、国連の食糧機関で働いている子や、外交官になった子がいるんですが、「国連」という団体名をつけたときに強く願ったのが、世界に通用する「真の国際人」を育てたいということ。そのためには、まず何より自分の国のことをしっかり勉強してほしい。また、子どもたちには、「劇団色」ではなく、「自分色」をしっかり持った子になってほしいのです。みんながそれぞれの色を持ち、極彩色のパレットを持った団体として、様々なメッセージを世界に発信していくのが私の夢です。

〈編集部〉素敵なお話をありがとうございました！

「舞台への想い」
舞台上に立つたら、お客様に愛を込めて歌おう。演じよう。

うれしくて喜びが押し寄せてきたときのこと、全部心に込めて、体全体に愛を込めて伝えよう。いまここに、生きていて幸せだって！

私たちの舞台を見て、だれかが人生に勇気をもってくれたら、楽しかったひとりで心が一息ついてくれたら、私は今日も元気に舞台上に立ちます。

特定非営利活動法人 国際連合活動支援クラシックライブ協会

所在地：東京都新宿区新宿5-7-14-202 TEL：03-5775-3737

URL：http://www.classiclive-un.org

出演者を募集しています